

今、目の前の課題に悩む 看護師に役立つ思考法

—エフェクチュエーションで育む柔軟な対応力—

予測不可能な時代において、看護の現場では「正解のない状況」に日々向き合いながら、試行錯誤を重ねることが求められています。

そんな中で注目されるのが、起業家の意思決定を研究する過程から生まれた思考法「エフェクチュエーション (effectuation)」です。

本セミナーでは、看護師が現場で活用できる、エフェクチュエーションの基本的な考え方と実践方法をご紹介します。

未来を予測して計画するのではなく、「今あるものを見つめ直し、できることから始める」柔軟な対応力と創造力を育むヒントをお届けします。



講師

杏林大学保健学部准教授

角田 ますみ 先生

東京生まれ。早稲田大学大学院人間科学研究科修了、博士（人間科学）。大学附属病院などを経て携わった訪問医療の現場で、人生の最期に自分の希望を叶えられない状況をみて、意思決定支援の研究を決意。専門は生命倫理学で、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、人生会議）をはじめとする人生における意思決定支援がライフワーク。また、医療や介護における倫理教育プログラム開発の研究にも従事。近年は、経営学の意思決定理論である「エフェクチュエーション」を、医療・ケアにおける新たな援助方法として創出する取り組みを行っている。著書に、『医療 × エフェクチュエーション；予測不可能な時代の医療・ケアを変える新しい思考法』（メヂカルフレンド社）ほか多数。

モデレーター / 野村 奈々子

（看護職の採用と定着を考える会・事務局）

開催日 2025 年

9月 3日 水

12:00 ▶ 12:55

定員 50名 参加費 無料

会場 オンライン（Zoom）

対象 現場で課題に直面する看護師、
教育手法を探している看護管理者の方

主催： 一般社団法人
看護職の採用と定着を考える会

共催： 株式会社メヂカルフレンド社

お申込み
お問合せ

一般社団法人
看護職の採用と定着を考える会

☎ 03-6457-7714

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町 15-32
フォーレスト四谷 B01 号室

